

# 丹沢湖ビジターセンター

【〒258-0202 山北町玄倉515 TEL 0465-78-3888 FAX 0465-78-3777】

## ●ガイドウォーク \*無料

季節ごとに様々なテーマで、ビジターセンター周辺の自然を観察します。

毎月第2日曜日 (むしくさの会)

10:00~12:00

## ●ミニウォーク

毎月第4日曜日

13:30~14:30

## ●スライドトーク \*無料

スタッフオリジナルのスライドで、丹沢の四季・自然の豆知識などをご紹介します。

毎週日曜日、祝祭日 13:00~13:30

# 県立ビジターセンター もよおし案内



# 秦野ビジターセンター

【〒259-1304 秦野市堀山下1513  
TEL0463-87-9300 FAX0463-87-9311】

## ●ガイドウォーク \*無料

ビジターセンター周辺を歩きながら、四季折々の自然を観察します。

毎月第4日曜日 10:30~12:00

## ●スライドトーク \*無料

毎週土曜日・祝日 13:30~14:00頃

丹沢の自然のおもしろさ・不思議さをご紹介します。

# 宮ヶ瀬ビジターセンター

【〒243-0111 清川村宮ヶ瀬940-15  
TEL 046-288-1373 FAX 046-288-1162】

## ●ガイドウォーク \*無料

ビジターセンタースタッフの案内で周辺の自然観察を行います。

毎週土曜・日曜・祝日

13:30~14:30頃

## ～県立ビジターセンターの開館時間に変更になります～

### H21年度 開館時間

宮ヶ瀬ビジターセンター  
丹沢湖ビジターセンター  
秦野ビジターセンター

9:00~16:30  
(通年)

西丹沢自然教室

8:30~16:30 (4/1~11/30)  
8:30~16:00  
(12/1~12/28, 1/4~3/31)

陣馬自然公園センター

9:00~16:30 (4/1~11/30)  
9:00~16:00  
(12/1~12/28, 1/4~3/31)

編集・発行 財団法人 神奈川県公園協会自然公園課

〒231-0027横浜市中区扇町3-8-8関内ファーストビル6階

TEL: 045-651-0931 (都市公園課・自然公園課) FAX: 045-651-0932

自然公園課: sizenkouen@kanagawa-park.or.jp

ホームページ <http://www.kanagawa-park.or.jp/>

この通信を上記のホームページで見ることが出来ます。

後援: 丹沢大山自然再生委員会

2009

4月号

No.67

～自然公園から季節のたよりをお届けします～

# 神奈川県自然公園だより

丹沢大山国定公園

県立丹沢大山自然公園

県立陣馬相模湖自然公園

富士箱根伊豆国立公園

西丹沢自然教室  
山北町中川11867-2-9  
TEL 0465-78-3940



マメザクラ



交流スペース



学びスペース



## 「リニューアルオープンしました！」

西丹沢自然教室は12月初旬からリニューアル工事のため休館していましたが、3月20日にリニューアル開館しました。

登山情報や登山者の交流、山岳エコツーリズムの拠点を目指した整備が行われ、展示パネルやペレットストーブなどが新設されました。室内は山小屋風の落ち着いた雰囲気を目指しています。改修前より入りやすくなりました。登山の帰りだけでなく、お気軽にお立ち寄りください。

春の花は平年より早く咲き始めました。自然教室の近くでは、ミツマタは3月9日、マメザクラは3月19日に咲き始めました。檜洞丸の山頂直下では、オオバイケイソウの芽が出始めました。いずれも例年より一週間以上早いです。

東京では桜の開花が平均より7日早かったですが、ここ西丹沢でも早めのような感じです。3月末現在、ほかに見られる花は、キブシ、アセビ、ノジスミレ、ハナネコノメなどです。ミツマタは咲き始めが早かったため、3月中には花の盛りが過ぎてしまうでしょう。

この冬は、雨が多く、2月初旬で積雪がなかったのは珍しいことでした。しかし3月は稜線に出るとまだ寒く、3月20日と22日に、朝の檜洞丸ではみぞれが降りました。

(倉持)

秦野ビジターセンター  
 秦野市堀山下1513  
 TEL 0463-87-9300



写真①  
 マムシグサの仲間の芽ばえ

写真②  
 写真③

## 「つつまれている・・・」

春の山を歩いているとき、こんなものを見たことはありませんか？(写真①)ニョキッと立つ姿は一見、タケノコのようなですが・・・。

実はこれはマムシグサの仲間が、春、地面から出てくるときの姿なのです。このときの形と模様が”マムシ”を連想させるので、その名がついたとも言われています。

しばらくすると、その皮が破れ、中から花や葉が出てきます(写真②)。そして、出始めから想像しがたい、不思議な形の花(写真③)へと変わります。

では、この中から出てくるのはどんな花・・・？(写真④)小さなブラシのような花、ヒトリシズカです！地面からでてくるときは、葉が花をギュッと包んで守っているのです。

寒い冬の間、土の中でじっと耐え、そしてようやく地上へと姿を現わした草花たちの、細やかな、そして、ていねいな生き様を見たような気持ちになりました。

こんな春ならではの出来事を探しに、ぜひ、山へ出かけてみてはいかがでしょうか!!

(鈴木)



写真④  
 写真⑤

宮ヶ瀬ビジターセンター  
 清川村宮ヶ瀬940-15  
 TEL 046-288-1373

## 「自然の変化をみつめて・・・」

3月下旬に飛来したツバメに引き続き、4月はオオトリやキビタキなどの夏鳥\*1が、ここ宮ヶ瀬にやってきます。ビジターセンター周辺も様々な野鳥たちのさえずりで賑やかになる季節です。そして、残っていた冬鳥\*2たちは北へと移動します。動きを実感できるのは野鳥だけではなく、植物も、様々な花が咲き始める時期でもあります。

温暖化や環境問題が言われる中、野鳥の飛来や植物の開花の時期にどのような変化があるのか、とても気になります。

宮ヶ瀬ビジターセンターではカウンターに『みんなで作る自然情報』ノートをおいており、職員だけでなく来館者の方々にも情報を記載していただき、皆さんに情報提供をしています。ビジターセンターにお越しの際はぜひノートをご覧ください。そしてぜひ、ご記入をお願いします。

皆さんと丹沢の自然の変化を見つめていけたらと思います。

(柳川)



巣材を集めるイワツバメ



ミヤマシキミ



みんなで作る自然情報ノート

\*1 南の暖かい地方で冬を過ごし、春に飛来して繁殖する鳥。

\*2 繁殖を北方で行い、秋に飛来し冬を過ごす鳥。

丹沢湖ビジターセンター  
 足柄上郡山北町玄倉515  
 TEL 0465-78-3888

## 「飛んだ災難」

「ゴン！」と何とも言えない鈍い音が展示室から聞こえてくると、「あっ！」と急いで建物の周辺を見回ります。「あ～、やっぱり・・・」そこには建物の窓ガラスに衝突し、意識がもうろうとした野鳥がいます。当たり所が悪かったり、ものすごいスピードでぶつかったりすると、死んでしまうこともあります。写真のトラツグミとモズは今年の被害者です。両者ともぶつかった直後は目を閉じ、口を開けていましたが、しばらくすると目をパチパチし始め、ふと我にかえって飛んで行きました。



衝突したモズ



トラツグミ



イカル



イカル(羽)

先日、地元の小学校の校長先生から「窓ガラスにぶつかって死んでしまったイカルがいるのですが、どうしましょうか？」と電話をいただきました。もちろん「ください！」と答えました。死んでしまった野鳥をどうするのか疑問に思う方も多いかと思いますが、ビジターセンターで展示されている剥製のほとんどが交通事故やこのような事故により死んでしまった生きものから作られています。また、生きていた時にはじっくり観察できない部分を観察することができたり、新しい発見があったりと死んだ生きものにはたくさんの情報が詰まっています。

とは言っても衝突は避けたいものです。窓ガラスには衝突しないように鳥のシールを貼ってはいるものの、効果があまりないのか、窓ガラスの面積が広いからなのか、野鳥の衝突事故は後を絶ちません。まもなく夏鳥シーズンの到来です。少しでも被害を抑えるために良い方法を考えたいものです。

(村上)

陣馬自然公園センター  
 藤野町佐野川1659-3  
 TEL 0426-87-5270

## 「早春・陣馬の花たち」

景色は、里から山頂へと順々に、木々の芽吹きや花々が冬枯れから春の色へと染まり始めています。生藤山・陣馬山頂でのサクラの開花を誰もが楽しみにしています。しかし、3月下旬に膨らみ始めた周辺のソメイヨシノの蕾は、寒の戻りの冷たい空気で足踏み状態でした。陣馬山頂では雪が舞う日もあり、登山者もびっくりしていました。昨年のサクラの開花は、センター周辺が4月上旬から中旬にかけて、陣馬山頂では中旬から下旬にかけてでした。そのほか、ミツバツツジは下旬が見頃でした。

3月29日現在、陣馬山頂ではフサザクラ・ダンコウバイ・シュンランなどが咲き、センター周辺ではキブシ・アブラチャン・ニリンソウ・ミヤマキケマン・ホトケノザ・タチツボスミレの花が咲きそろい、にぎわいをみせています。

これから暖かくなるごとに様々な花が顔を出し、華やかさを添えてくれるはず。春告げ鳥のウグイスも囀り始めました。美声が谷間に響き渡り、疲れた登山者を癒すことでしょう。

(荒井)



ミヤマキケマン



ニリンソウ